

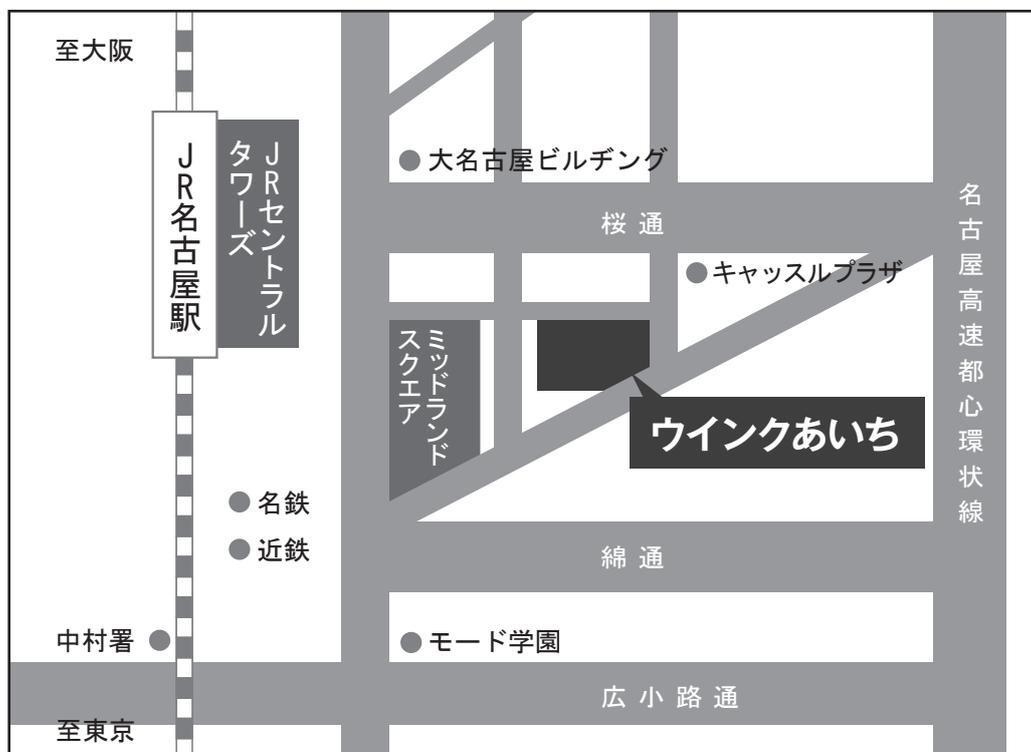


第40回 東海スポーツ傷害研究会

日時：2018年2月3日(土) 14:00～

場所：ウインクあいち 2F「大ホール」
〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目4番38号
TEL. 052-571-6131

- JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分



(※駐車場はご用意してございません)

- ・発表時間は5分

参加費 2,000円

日整会専門医・認定医(スポーツ)及び研修医単位取得の場合は、別途1,000円を申し受けます。
日本リハビリテーション医学会単位、日手会認定単位取得の場合は無料です。
日医健康スポーツ医制度再研修会、日医生涯教育研修単位取得の場合は無料です。

当番幹事 **近藤精司** (至学館大学短期大学部 体育学科 教授)

プログラム

挨拶 (14:00 ~ 14:05) 当番幹事: 近藤精司

セッション I (14:05 ~ 14:45) 座長: 土屋篤志 (名鉄病院 整形外科)

1. 高校サッカー選手におけるポジション別体力特性の調査

三宅秀俊 (静岡みらいスポーツ・整形外科)

2. 社会人サッカー選手の試合における体重変化に関する報告

深野裕己 (医療法人社団大須賀医院おおすが整形外科)

3. 柔道の投込みによる頭部衝撃と輻輳近点距離の関係

箱崎太誠 (中京大学大学院 体育学研究科)

4. バトントワーリング世界大会における帯同報告

平野佳代子 (医療法人承継会井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)

5. スキー場季節診療所における診療の実際

大羽宏樹 (名古屋大学 整形外科)

セッション II (14:45 ~ 15:35) 座長: 亀山 泰 (医療法人承継会井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)

6. 腰椎骨盤リズムが変化する要因の検討

吉原圭祐 (公益財団法人スポーツ医・科学研究所)

7. 発育期腰椎分離症患者の早期例にみられる経過時のMRI・臨床所見とCTの画像所見の特徴について

植田健太郎 (特定医療法人米田病院 リハビリテーション科)

8. 膝前十字靭帯・内側側副靭帯損傷の受傷機転の調査

近藤晃弘 (三菱名古屋病院 リハビリテーション科)

9. 膝前十字靭帯再建術後患者における片脚垂直跳びテストを用いた膝伸展筋力推定式の交差妥当性

小杉 峻 (やまが整形外科 リハビリテーション科)

10. 前十字靭帯再建術後の膝関節伸展筋群における最大トルクと筋力発揮速度の関係について

丹羽雄大 (医療法人慈和会吉田整形外科病院 リハビリテーション科)

11. ACL 再建術患者の最大筋力発揮角度に対するグラフト採取の影響

土肥亘祐 (三菱名古屋病院 リハビリテーション科)

休憩 (15:35 ~ 15:55)

セッションⅢ (15:55 ~ 16:35) 座長: 酒井忠博 (トヨタ記念病院 整形外科)

12. 投球肘障害患者における手指機能について

早野英里 (山内ホスピタル リハビリテーション部)

13. 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術の治療成績

磯部雄貴 (名鉄病院 整形外科)

14. 大学生体操選手に生じた上腕二頭筋長頭腱損傷の1例

村松由崇 (愛知医科大学 整形外科)

15. 反復性肩関節脱臼における脱臼回数による易脱臼性への影響

吉田雅人 (名古屋市立大学 整形外科)

16. 水泳選手に行った関節鏡下股関節唇形成術の3例

田中佑樹 (名古屋第一赤十字病院 整形外科)

セッションⅣ（16：35～17：25）座長：清水卓也（中京大学 保健センター）

17. スポーツ傷害と歩行時の足圧中心軌跡との関係

平岡洋樹（やまだ整形外科・リハビリクリニック）

18. Sever 病に対し前足部の機能改善が効果的であった一症例

上川慎太郎（平針かとう整形外科）

19. 新鮮アキレス腱皮下断裂早期加速リハ保存療法の経験と断端部離開予防のためのリスク管理の実際

平井利樹（特定医療法人米田病院 リハビリテーション科）

20. 遠位脛腓靭帯損傷、前距腓靭帯損傷に対し鏡視下手術を行った 1 例

小田智之（トヨタ記念病院 整形外科）

21. スポーツ傷害に対する体外衝撃波治療の可能性

西森康浩（はなみずき整形外科スポーツクリニック）

22. 第 5 中足骨近位骨幹部疲労骨折（Jones 骨折）例の検討

亀山 泰（医療法人承継会井戸田整形外科名駅スポーツクリニック）

総 会（17：25～17：35） 代表幹事：山賀 寛（やまが整形外科）

休憩（17：35～18：00）

特別講演（18：00～19：00） 座長：近藤精司（至学館大学短期大学部 体育学科）

アスリートの手関節、手指外傷と障害

— 競技や選手の環境に配慮した治療、リハビリテーション、復帰支援 —

中尾悦宏（中日新聞社健康保険組合 中日病院 副院長）

講演内容

1. 高校サッカー選手におけるポジション別体力特性の調査

静岡みらいスポーツ・整形外科 ○ 三宅秀俊（理学療法士），杉山貴哉，杉山貴生，小口智加，
塚原 渉，石川徹也

高校サッカー部員42名のフィールドプレーヤーに対し、体力テスト(ジャンプ,片脚立ち上がりテスト,アジリティ,持久力)を行い、ポジションをDF,サイド,FWの3群に分け体力特性を比較したので報告する。

2. 社会人サッカー選手の試合における体重変化に関する報告

医療法人社団大須賀医院おおすが整形外科 リハビリテーション科 ○ 深野裕己（柔道整復師），
若林英希，安藤研介，片山裕介，
福島隆広，神谷和希，加藤壮馬，
山田享平，竹内文恵
医療法人社団大須賀医院おおすが整形外科 大須賀友晃，森谷裕司

東海社会人サッカーリーグに所属する選手を対象に、リーグ公式戦における試合前後での体重を測定してその減少率について調査した。気温、天候、筋痙攣の発生などとの相関性に関する考察を加え報告する。

3. 柔道の投込みによる頭部衝撃と輻輳近点距離の関係

中京大学大学院 体育学研究科 ○ 箱崎太誠（アスレチックトレーナー），倉持梨恵子，清水卓也，
中京大学 スポーツ科学部 村田祐樹

柔道の投込みによる衝撃が脳に与える影響を、SCAT3のSAC・BESSと輻輳近点距離で調査した。輻輳近点距離は直後と翌日まで増加し、投込みによる衝撃が、脳機能に影響を与える可能性が示唆された。

4. バトントワーリング世界大会における帯同報告

医療法人承継会井戸田整形外科名駅スポーツクリニック ○ 平野佳代子（理学療法士），鈴木りさ子，
亀山 泰
医療法人承継会びわく整形外科 金澤 毅，井戸田 仁

我々は、バトントワーリング世界大会に日本選手団医療スタッフとして帯同する機会を得た。競技種目特性を反映した外傷発生状況、大会出場へ向けた対応内容・工夫点、今後の課題など、若干の考察を交えて報告する。

5. スキー場季節診療所における診療の実際

名古屋大学 整形外科 ○ 大羽宏樹（医師），平岩秀樹，濱田 恭，大野洋平，石塚真哉，山下暁士，
宮本健太郎，土谷早穂，川村佑介，小早川晃範，坂口健史

ウィンタースポーツとしてスキー・スノーボードは広く普及しており、その競技人口は少なくない。我々は毎年、志賀高原スキー場にある季節診療所での診療に参加しており、今回診療実績をまとめたので報告する。

6. 腰椎骨盤リズムが変化する要因の検討

公益財団法人スポーツ医・科学研究所 ○吉原圭祐(理学療法士), 野村真嗣, 岡戸敦男, 熊澤雅樹
日本福祉大学 健康科学部 小林寛和
京都地域医療学際研究所がくさい病院 金村朋直

腰部疾患において, 腰椎骨盤リズムの問題が疼痛発生に関与していることは多い. 腰椎骨盤リズムは股関節や腰椎の可動域などに影響される. 健常成人を対象に, 腰椎骨盤リズムが変化する要因について検討した.

7. 発育期腰椎分離症患者の早期例にみられる経過時のMRI・臨床所見とCTの画像所見の特徴について

特定医療法人米田病院 リハビリテーション科 ○植田健太郎(柔道整復師), 伊藤雅流, 藤田秀和,
片桐幸秀
特定医療法人米田病院 放射線科 山口 永, 中島幸治, 角谷法彦
特定医療法人米田病院 整形外科 米田 實, 福山陽子

発育期腰椎分離症はMRI・CT・臨床所見により評価するが, 経過時のMRI・臨床所見とCT所見が解離する症例も見られる. 本研究では, 早期例に着目したそれらの特徴について報告する.

8. 膝前十字靭帯・内側側副靭帯損傷の受傷機転の調査

三菱名古屋病院 リハビリテーション科 ○近藤晃弘(理学療法士), 安井淳一郎, 船戸未央,
増岡祐依, 澤田将宏, 佐々木壮太, 榛地佑介, 谷原竜太,
土肥亘祐
三菱名古屋病院 整形外科・関節鏡センター 黒河内和俊

ACL単独損傷はノンコンタクトでの受傷が多く, MCL単独損傷はコンタクトでの受傷が多いとされている. 今回, ACL損傷患者のうちMCL損傷を合併した患者の受傷機転を調査したので報告する.

9. 膝前十字靭帯再建術後患者における片脚垂直跳びテストを用いた膝伸展筋力推定式の交差妥当性

やまが整形外科 リハビリテーション科 ○小杉 峻(理学療法士), 桑坪憲史, 河野公昭,
村橋喜代久, 村橋淳一, 勇島 要, 田口 毅,
野田英伯, 渡邊和樹, 鈴木実緒, 佐藤絵里,
やまが整形外科 山賀 寛, 山賀 篤,
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 理学療法学科 河野健一

膝前十字靭帯再建術後患者における片脚垂直跳びテストに患者属性である体重と性別を加えて膝伸展筋力推定式を作成し, 新たな集団に対する推定式の有用性を検証した結果, 交差妥当性を有することが明らかとなった.

10. 前十字靭帯再建術後の膝関節伸展筋群における 最大トルクと筋力発揮速度の関係について

医療法人慈和会吉田整形外科病院 リハビリテーション科 ○丹羽雄大(理学療法士), 松本 優,
松本裕司, 近藤秀哉, 中宿伸哉
中京大学 スポーツ科学部 スポーツ健康科学科 光山浩人

今回 ACL 再建術前後の新しい筋力評価法として角速度 60d/s と 180d/s の等速性膝関節伸展運動における最大トルクと加速時間, 単位時間あたりの発揮トルクとの関係を検討したので報告する.

11. ACL 再建術患者の最大筋力発揮角度に対するグラフト採取の影響

三菱名古屋病院 リハビリテーション科 ○土肥亘祐(アスレチックトレーナー), 近藤晃弘,
船戸未央, 安井淳一郎, 増岡祐依, 澤田将宏, 谷原竜太,
榛地佑介, 佐々木壮太
三菱名古屋病院 整形外科・関節鏡センター 黒河内和俊

ACL 再建術後の筋力と動作に関連した先行研究は数多くされているが最大筋力の発揮角度について検討している報告は少ない. そこで今回我々は, 術前と術後 12 ヶ月の最大筋力発揮角度の関係について調査した.

12. 投球肘障害患者における手指機能について

山内ホスピタル リハビリテーション部 ○早野英里(理学療法士), 砂子俊晴, 牧美登里, 田畑武士,
櫻井健司

当院の投球肘障害を有する患者 30 名に対して, 理学所見としてピンチメーターにて指尖握り, 指腹握り, 3 指握りを検査した. 投球側と非投球側を比較したところ, 示指のピンチ力投球側で有意に低下していた.

13. 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術の治療成績

名鉄病院 整形外科 ○磯部雄貴(医師), 土屋篤志, 長谷川一行, 白井康裕, 大藪直子

2013 年 7 月から 2017 年 3 月に上腕骨小頭離断性骨軟骨炎 11 例に対して骨軟骨柱移植術を施行した. 比較的大きい骨軟骨柱を移植した. 良好な成績が得られたので文献的考察を加えて報告する.

14. 大学生体操選手に生じた上腕二頭筋長頭腱損傷の 1 例

愛知医科大学 整形外科 ○村松由崇(医師), 岩堀裕介, 出家正隆
伊藤整形外科 伊藤隆安

20 歳男性, 大学体操選手. 吊り輪中に右肩関節前方部の疼痛が出現した. 身体所見と MRI 所見より腱板疎部及び上腕二頭筋長頭腱損傷と診断し, 鏡視下関節唇修復術と直視下上腕二頭筋長頭腱固定術を施行した.

15. 反復性肩関節脱臼における脱臼回数による易脱臼性への影響

名古屋市立大学 整形外科 ○吉田雅人(医師), 武長徹也, 竹内聡志,
後藤英之, 大塚隆信,
University of Pittsburgh, Department of Bioengineering Calvin Chan, Richard E. Debski
University of Pittsburgh, Department of Orthopedic Surgery Volker Musahl, Albert Lin

新鮮凍結肢体肩と関節力学試験ロボットシステムを用い, 反復性肩関節脱臼における脱臼回数による易脱臼性への影響を検討した. 反復性肩関節前方脱臼は脱臼回数により, 易脱臼性を増加させる可能性が示唆された.

16. 水泳選手に行った関節鏡下股関節唇形成術の3例

名古屋第一赤十字病院 整形外科 ○田中佑樹(医師), 山本英樹

当院で2016年8月から2017年6月の間に3例の大学生水泳選手のFAIに対して関節鏡下股関節唇形成術を行った. 全例受傷前のレベルまで競技復帰したため, 若干の文献的考察を加えて報告する.

17. スポーツ傷害と歩行時の足圧中心軌跡との関係

やまだ整形外科・リハビリクリニック ○平岡洋樹(理学療法士), 安藤正和, 米倉伸樹, 篠原崇志,
宮原 鉄, 山本将起, 森田瑞乃, 谷田川正浩, 山田 兼吾,

10代のスポーツ傷害での歩行では, 痛みのない状態においても不安定な歩容が臨床上確認される. 本研究は, スポーツ傷害の来院患者を対象に歩行時の足圧中心軌跡を解析し, 各疾患での特徴を捉えたので報告する.

18. Sever病に対し前足部の機能改善が効果的であった一症例

平針かとう整形外科 ○上川慎太郎(理学療法士), 岡西尚人, 加藤哲弘

Sever病に対する治療は, 足底挿板療法や下腿三頭筋のストレッチングを行うことが一般的である. 今回, 運動療法により前足部の機能改善を行い, 比較的短期間で疼痛は消失したので, その内容について報告する.

19. 新鮮アキレス腱皮下断裂早期加速リハ保存療法の経験と 断端部離開予防のためのリスク管理の実際

特定医療法人米田病院 リハビリテーション科 ○ 平井利樹(柔道整復師), 高木俊紀, 牛島美雪,
永田和平, 片桐幸秀, 島 大輔
特定医療法人米田病院 整形外科 米田 實

当院では 2013 年より早期加速リハ保存療法によって新鮮アキレス腱皮下断裂を治療している(83 例)が, 早期リハには腱断端間離開のリスク管理が重要になる. そこで画像・臨床所見や最新の文献的考察を含めて報告する.

20. 遠位脛腓靭帯損傷, 前距腓靭帯損傷に対し鏡視下手術を行った 1 例

トヨタ記念病院 整形外科 ○ 小田智之(医師), 酒井忠博

サッカーにて受傷. ATFL 損傷, 脛腓靭帯損傷の診断にて鏡視下手術を行った. ATFL 損傷はアンカーを用いて腓骨へ縫縮, 脛腓間の不安定性も認めため, Knotless タイトロープ Syndesmosis[®]にて脛腓間を固定した. 術後 3.5 ヶ月で競技に復帰した.

21. スポーツ傷害に対する体外衝撃波治療の可能性

はなみずき整形外科スポーツクリニック ○ 西森康浩(医師), 仲村 智

保存加療を要するスポーツ傷害への治療にはリハビリテーションが一般的だが, 近年では体外衝撃波治療が行われるようになってきた. 当院におけるスポーツ傷害への体外衝撃波治療の経験につき報告する.

22. 第 5 中足骨近位骨幹部疲労骨折 (Jones 骨折) 例の検討

医療法人承継会井戸田整形外科名駅スポーツクリニック ○ 亀山 泰(医師)
公益財団法人スポーツ医・科学研究所 熊澤雅樹
医療法人鬼頭会鬼頭整形外科スポーツクリニック 鬼頭 満
医療法人承継会びわじま整形外科 井戸田 仁
中部大学 生命健康科学部 横江清司

我々が経験した第 5 中足骨近位骨幹部疲労骨折いわゆる Jones 骨折例について, 疫学, 難治例, 再発例などについて検討したので報告する.

特別講演

アスリートの手関節, 手指外傷と障害 — 競技や選手の環境に配慮した治療, リハビリテーション, 復帰支援 —

中日新聞社健康保険組合 中日病院 副院長

中尾 悦宏 先生

スポーツにより手関節や手指の外傷や障害が生じ, 競技の休止を余儀なくされる選手の診療にあたる機会は少なくない。競技特性, 競技レベルや選手のポジション, 競技シーズンにおける時期など, 治療法選択において考慮すべき事項は多い。

今回は, 高いレベルで広く活躍するプレーヤーの症例を交えながら, 手根骨, 手指の骨折や靭帯損傷, 腱滑走障害, gymnast's wristや尺側部痛などの慢性手関節障害について, 病態の正確な評価, 適切な保存的, 観血的治療を概説する。

さらに, 再始動に向けたリハビリテーションや段階的トレーニングについても紹介したい。医学的知識や経験を持ち競技動作に精通したハンドセラピストや, それらに加えて選手の環境面を把握したチームのメディカルスタッフとの連携が重要で, 多面的なサポートにあたる。これらの積極的支援が, 競技者の速やかなトレーニングの開始を可能とし, 良好なコンディションでの早期復帰に寄与する。選手の活躍, パフォーマンスの向上を目指し, 私たちの担う役割は大きい。

受講者には以下の単位が認められます。

- 日本整形外科学会教育研修会認定単位：1単位
 - ・ 整形外科専門医資格継続
 - 必須科目 02：外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
10：手関節・手疾患（外傷を含む）
 - ・ スポーツ医資格継続
- 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医資格継続単位：10 単位
- 日本手外科学会教育研修講演認定単位：1 単位
- 日本医師会認定健康スポーツ医資格継続単位：1単位
- 日本医師会生涯教育単位：1 単位
 - カリキュラムコード 57：外傷

！！大切なお知らせ！！

平成27年1月1日より、教育研修会単位取得が完全デジタル化されます。

研修会を受講される方へ

IC会員カードが必要になりますので、必ずご持参ください。

(平成25年4月に全会員に発行済です)

現在、カードがお手元にはない方は日整会事務局

までお問い合わせください。(03-3816-3671)

必須分野番号の選択について

単位の必須分野番号を、研修会当日に選択することはできません。

後日、会員専用ページ内の「単位振替システム」を利用して、
ご自身で、ご希望の必須分野番号への振替をお願い致します。

<IC会員カード見本>



顧問：三浦隆行、岩田 久、内田淳正、蟹江良一、清水克時、藤澤幸三、須川 勲、
喜久生明男、本庄宏司、横江清司、米田 寛、出家正隆

幹事：(五十音順)

岩堀裕介 (愛知医科大学 整形外科)
加藤 公 (鈴鹿回生病院)
亀山 泰 (井戸田整形外科名駅スポーツクリニック)
河野公昭 (やまが整形外科)
後藤英之 (名古屋市立大学 整形外科)
小林寛和 (日本福祉大学)
小林正明 (大垣市民病院 整形外科)
小林良充 (聖隷浜松病院 スポーツ整形外科)
小山博史 (十全記念病院 整形外科)
近藤精司 (至学館大学短期大学部)
清水卓也 (中京大学保健センター)

杉本勝正 (名古屋スポーツクリニック)
高橋正哲 (十全記念病院 整形外科)
土屋篤志 (名鉄病院 整形外科)
寺林伸夫 (岐阜大学医学部 整形外科)
早川克彦 (愛光整形外科)
尾藤晴彦 (浜松市リハビリテーション病院 整形外科)
福田 雅 (松波総合病院 整形外科)
福田亜紀 (鈴鹿回生病院 整形外科)
山賀 寛 (やまが整形外科)
山路倫生 (阿由知通山路整形外科)
山田光子 (坂文種報徳會病院 整形外科)

共催：東海スポーツ傷害研究会
三笠製薬株式会社

三笠製薬



経皮吸収型鎮痛・消炎剤

フェルビナク固形軟膏 薬価基準収載 フェルビナクローション 薬価基準収載
スミルスティック3% **スミル®ローション3%**

日本薬局方 フェルビナクテープ 薬価基準収載 フェルビナク外用ポンプスプレー 薬価基準収載
スミル®テープ35mg・70mg **スミル®外用ポンプスプレー3%**



製造販売元 [資料請求先]
三笠製薬株式会社
 東京都練馬区豊玉北2-3-1
<http://www.mikasaseiyaku.co.jp>



JQA-QM3235 三笠製薬株式会社
 JQA-E100367 三笠製薬株式会社

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2017年9月作成

三笠製薬



経皮吸収型鎮痛・消炎剤

薬価基準収載

ゼポラス[®]テープ[®] 20mg
ゼポラス[®]テープ[®] 40mg

ZEPOLAS[®] TAPE 20mg・40mg フルルビプロフェンテープ剤



製造販売元

[資料請求先]

三笠製薬株式会社

〒176-8585

東京都練馬区豊玉北2-3-1

<http://www.mikasaseiyaku.co.jp/>



ISO 9001
ISO 14001
JQA-Q19125 三笠製薬株式会社
JQA-E101907 三笠製薬(江崎)株式会社

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2016年2月作成